

■発行/桜井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28 ■電話/自宅: 0299-22-3881
■FAX: 0299-22-3881 ■携帯: 080-3150-8451 ■E-Mail sakurai@sakurai.click
■WEB <https://sakurai.click/index.html> ■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3>

石岡市議会議員

櫻井

SAKURAI

茂

SHIGERU

輝く未来を子どもたちへ

国土地理院石岡測地観測局 (石岡市根小屋)

県畜産センターに隣接する国土地理院石岡測地観測局を見学。写真のアンテナは、地球から数十億光年離れた天体(クエーサー)からの微弱電波を地球上の複数のアンテナで観測することで、地球の形や動きを正確に測る「全球測地観測システム」を構成する機器(直径13.2m、高さ20m、重量80t)です。世界中のアンテナと連携し調査を行い、1mmの精度で距離を測ることが可能です。これにより太平洋プレートの動きで、ハワイが毎年6cmの速さで日本に近づいている事が分かっています。

世界に誇る観測所は、精密機器の保全と安全保障上の観点から、一般公開はされていません。ただし、草地の荒らされ方から見て、イノシシだけは自由に出入りしている事が伺えました。

一 議案審査について

(1) 議案審査は委員会付託が原則

市議会定例会では、市長が提出する議案について、3つの常任委員会がそれぞれ所管する分野を審査します。法律等の改正に伴う条例改正や補正予算案の審査は、一部に反対意見が出たとしても、ほぼ可決されます。

一方、市が独自に行う政策や事業・予算案は、委員会でも慎重に審査され可否を判断。この結果を本会議採決でも尊重するケースが殆どです。

(2) 可否は原案に対する判断

条例案や予算案を審査する過程で「この部分をこのようにすれば賛成する」とした議員の発言がありますが、採決は条件付きは無く、原案に対して賛否を諮ります。修正を求めたければ、具体的な数字や文言を記した修正案を議員自らが作成・提出し、賛否を問う事になります。

(3) 委員会審査における留意点

6月の定例会において、私が委員長を務める総務企画委員会に審査付託された補正予算案の一部事業について、疑問と反対の声が多数を占め、議案否決の空気が流れる事態となりました。そこで、会議を一旦休憩。補正予算案否決は市民サービスへの悪影響が大きい事。そして、反対事業予算を削除修正するなら、直ちに修正案提出が必要なることを反対派議員に確認すると、難しい事が判明。それならば、原案を可決し、今後の委員会審査で事業の修正も可能ではないか等の提案を行い、原案可決へと導きました。今回のようなケースは、案件の複雑さや先進性、あるいは執行部が議会の動向を把握せず、丁寧な説明を怠っている時に見受けられます。

二. 市長所信に対する代表質問

再選後の所信表明で谷島市長は「これまで様々な施策の種を次の4年間で花を咲かせ、本市に必要な施策の実となるよう、より魅力ある街に育てていきたい」と所信で述べました。この意気込みに対して、所属党派「石翔会」を代表して、私が会派代表質問を行いました。

(1) 再選を果たした市長の所信について



市長の所信で触れられた政策や事業について10項目の質問を行い、特に気になる点について再質問を行いました。



①耕作面積割合が僅か0.3%しかない「有機農業を市全体に波及させる」とした内容を伺う。

②トップセールスで企業誘致を行うとした当初発言は、誘致する適地選定に変わり、今回は抽出した適地の地区計画策定になった。いつ頃結果を出すのか。

③複合文化施設に関して「課題を整理し、解決策を取りまとめ議論を進めたい」としており、今更の感がある。いつ頃提示しどのように議論をまとめるのか。

市長 ①有機農業の価値、重要性を市全体に波及させたい。有機農業の特色を活かしたまちづくりを進めたい。②数か所を開発ポテンシャルの高い適地として選出した。インフラ整備は関係機関と連携して進める。③課題に対する解決策を取りまとめ中。まとめ次第、議会や審議会に提示し、議論をまとめたい。



結果を求めるあまり、見かけのカッコよさや派手さを求めて足元がぐらつくようでは困る。公平公正で法令遵守を肝に銘じ、市政運営にあたっていただきたい。

三. 6月定例会で行った一般質問

(1) 公共施設マネジメントについて

複合文化施設、ふるさと歴史館、保健センター、プール等の大型事業のマネジメントの進め方を伺います。

①公共施設管理の基本方針について

40年間で総量20%削減目標は、小中学校の統廃合で既に達成している。今後の公共施設マネジメントについて伺う。



20年周期で修繕し、80年使用を目標とする。マネジメントは、公共施設経費を設け政策的判断を行う。

②計画のローリングについて

個別施設計画の見直しと、10力年の財政推計には大型事業経費が含まれておらず、その信頼性の担保について伺う。



概ね3年から5年で見直しを行う。計画策定当初から変更された事例もあり、個別施設計画改定手続きを促していく。

市長 概算事業費がまとめ次第、将来推計を作成し、政策判断資料とする。



財政計画に大型事業が含まれず、整備が早いもの勝ちになる懸念がある。市長は、大型事業の概算経費を把握の上、事業案を議会に示していただきたい。

③複合文化施設の方向性について

当初事業案では、維持管理経費が倍になり、マネジメントが適切だったとは言えない。マネジメントが適正かの審査判定をするのは誰なのか伺う。



市長 公共施設等管理計画や財政運営を踏まえ、マネジメントに取り組み。市長自らリーダーシップをとって進めたい。



(2) 八郷運動公園のプール整備について

八郷運動公園の屋外プールは、ウォータースライダープールを備え、多くの利用者で賑わいました。築40年を超える老朽化で、建て直しが検討されており、その整備方針を伺います。

①プールの設備概要について

文教厚生委員会で屋内プール整備を想定していると報告しているが、整備内容と屋内プールを選択した理由を伺う。



各学校プールの修繕を止め、八郷運動公園内に屋内プールを整備し、プール授業を確保したい。温水は検討中。

②コストパフォーマンスについて

水泳実技を無くす自治体も出ています。想定する建設費、維持管理経費について伺う。また、その効果、利用者数、利用方法等の算定について考え方を伺う。



他自治体を調査中。石岡市に見合った規模、経費を算定したい。授業日数確保と安定的な一般利用を期待している。

③整備事業の進め方について

屋内プールでは一般利用者は圧倒的に少なくなる。学校優先の考えなら、生徒数の多い学校に隣接・設置した方が、送迎費用や移動時間を減らせる。スライダープールは県内でも希少であり、教育委員会の考えでは石岡市の魅力度は下がるだけ。80年使用する施設ですから、市長の考えを伺います。



市長 プール整備は喫緊の課題。学校プール以外にも広く一般開放を行い、スポットでつながる拠点として早急に整備を進めたい。スライダープールがあると若い方々がお子さんと思い出づくりに利用できる。今後の検討に含めていただきたい。

四. 複合文化施設建設事業

(1) 議会は反対意見で溢れる状況

複合文化施設建設地を議論していますが、一般質問や特別委員会における議員の声は、駅東地区建設に懐疑的な声ばかりです。賛成派議員もいますが、会議の場では誰も発言しません。本来、複合化する機能・施設の役割を議論すべきところですが、全く進展が見えません。

(2) 副市長が議会調整に動くも成果は？

6月定例会直前、副市長は各会派に対して、複合文化施設に関し、議会の生の声を確認したいとして意見交換を申し入れています。「何が問題なのかを具体的に確認し、場合によっては市長に直言（計画変更を）したい」との理由を示していました。

各会派はこれに応じ意見交換しましたが、賛成は1会派のみ。しかし、6月定例会でも市長答弁に変化はなく、会派との意見交換は何だったのか？といった空気が議会を覆っていました。

(3) 市長への言行不一致で混乱

6月定例会閉会直後、市長要望で特別委員会正副委員長が面会。市長は「複合文化施設の建設予定地は石岡駅東地区にこだわっていない」と発言した。との情報が伝わってきました。これを聞いた議員の多くが「どういうこと？」

その後開催された審議会へは、駅東地区図面のみを提出した事実を知った議員の多くは、市長の言行不一致に、またしても驚く事に。

8月初旬、次の特別委員会で建設地の可否を採決してほしいと市長が要請してきた。と伝わりました。議会に解決案を示す約束を果たさない上、否決されたらその責任は・・・？

五. イベント広場利活用について

市は、イベント広場に図書館・ふるさと歴史館・おまつりに関する展示スペースからなる複合施設を建設する方針を、8月6日開催の産業建設委員会で説明しました。施設規模は表の通りです。

(1) 新図書館の整備方針

新図書館の整備方針は「あらゆる世代が集い、本が人をつなぎ人がまちをつくる、情報の集積地としての図書館を目指す」としています。

① 一般図書、児童図書、郷土資料・参考図書の三つの配架エリアで構成。

② ユニバーサルデザインを基本にワンフロア配架に配慮。

③ ふるさと歴史館との併設。

④ 親子・学生が安心して閲覧、学習できるスペースに配慮。

(2) 新ふるさと歴史館の概要

説明された提案は、平成18年に策定された図書館と歴史館で構成する複合施設建設計画がベースとの事。20年も前の発想ではなく、「歴史の里いしおか」を体感できる施設、新しい発想で古代から近現代までの石岡地域を表現できる施設整備を求めていると思います。

おまつり展示スペースに至っては、いったい何を見せ、聞かせ、体験していただくのか、あまりに狭いスペースで驚きました。山車や幌獅子の実物展示は、ほぼ不可能です。人を呼べる施設整備を強く意識するよう求めていきます。

図書館	専有面積	2,550㎡
	蔵書目標数	210,000冊
ふるさと歴史館	専有面積	1,000㎡
	おまつり展示スペース	200㎡
共有部分	エントランス、エレベーター、授乳室、会議室、授乳スペース、休憩室、講座	900㎡

六. 石岡駅東口都市公園整備事業

(1) 石岡スケートボードパーク竣工

石岡駅南側に隣接し約1億7千万円の費用で整備を進めていた「石岡スケートボードパーク」のオープン式典が7月21日に開催されました。

初心者から中級者までが楽しめる無料施設です。利用希望者は、事前の登録を行い、リストバンド及びロゴマークステッカーを受け取ります。これらは利用の際にいずれかを携行しなければなりません。私も早速、利用者登録を行いました。



(2) 遊具エリア（防災機能含む）も併設

スケートボードエリアと合わせ、遊具エリアも併設されており、人工芝に大型遊具等が設置されています。

遊具は障害の有無にかかわらず誰もが一緒に遊べるインクルーシブ遊具をメインとしています。防災機能を備えた東屋2棟も設置しました。



(3) ネーミングライツの出だしは不調

公共施設名に企業名を取り入れ、広告料収入を得るネーミングライツへの取組みとして、希望価格を年額2百万円で設定したところ不調に。式典の際に契約企業名を発表するはずが取り止めとなり、ホームページ情報も削除されました。今後、新たに募集をかけるとの事で契約期間は3年で、契約金額は企業と相談するようです。

七. 市職員の不祥事

8月2日、市長から職員の不祥事2件の報告と関係職員の懲戒処分が発表されました。

(1) 窃盗の消防署男性士長を停職6カ月

男性士長（30歳）は、今年4月から7月、石岡消防署内の仮眠室で、同僚署員1名の財布から9回にわたり合計9万円を窃盗していた。

聞き取りで本人が事実を認めたもので、消防長等の管理責任のある管理職員は嚴重注意処分。男性士長は停職6カ月の処分となりました。

(2) 公金着服の女性係長を懲戒免職

女性係長は、児童館の習字教室利用者から集めた19万円を着服。講師から材料費の不払いの問い合わせがあり発覚。この事実を隠ぺいしている事が内部通報され、総務課が関係者から聴取を行った際、口裏を合わせ否定していました。その後、真実を話す職員が現れ、事実が判明。上司4名は隠ぺい行為により、部長は停職3カ月、次長・課長・課長補佐を減給10%3カ月。着服した係長は懲戒免職となりました。

(3) 再発防止はキャッシュレス化

市長は、市議会全員協議会で陳謝しました。職員に公金取扱いの重大さを再認識させ、幹部職員の公正な職務の徹底を促し、キャッシュレス化を進める旨の説明をしました。

これに対して、議員から「警察への相談は」↓**相談した**。「隠ぺいに反対した管理職は」↓**いない**。「市長の責任は」↓**減給を考えている**。等々の質疑がされました。ここ数年、市業務のデジタル化を進めています。窓口業務の現金取扱いのキャッシュレス化は手付かず。果たして、着服防止対策になるかも疑問です。

八. 筑波山地域ジオパーク研修

筑波山地域ジオパーク6市議会議員連盟協議会は8月1日、八郷総合支所に筑波山を取り囲む石岡市・かすみがうら市・土浦市・つくば市・桜川市・笠間市より約60名の議員が参加し研修会を開催しました。国土地理院石岡測地観

(1) 観光協会の法人化と新事務局長

石岡市観光協会は、令和6年4月に法人化し事務局長を一般公募しました。採用されたのは、JTBで観光誘客やマーケティングの経験を積まれた岩波事務局長です。

研修会では、観光振興における効果的なプロモーションを事務局長が講演。これまでの石岡市にはなかった、観光に関する各種データを分析し、目的達成に向けたプロモーションの考え方について伺いました。法人化した観光協会の新たな取り組みに期待が持てる内容でした。

(2) 現地視察

講演後、国土地理院石岡測地観測局（表紙）を現地視察。アンテナは15秒で反対側を向く速度で、つくば市の国土地理院からコンピュータ制御によるリモート操作を行っています。

次いで、**木内酒造の八郷醸造所**を訪問。平成30年に旧小幡地区公民館を市から購入・改修し、蒸留所を開設。「**日の丸ウイスキー**」の名称でシングルモルトウイスキーを生産。生産工程を見学できます。また、筑波山を正面にウイスキーと生ハムやチーズを食べることのできる直売所も併設されており、観光拠点としても期待されます。



九. 議会日程

(1) 第3回定例会

令和6年第3回定例会は8月20日告示、8月27日開会、9月12日閉会となります。黄色枠の会議はインターネットによる生中継及び録画放映がされますのでご利用ください。20日の議会運営委員会は午後1時30分開会、ほかは全て午前10時開会となっています。

月日	曜日	会議
8月27日	火	開会、議案上程
28日～9月1日：休会		
9月2日	月	一般質問
3日	火	一般質問
4日	水	一般質問
5日	木	議案質疑
6日	金	文教厚生委員会
7日～8日：休会		
9日	月	総務企画委員会
10日	火	産業建設委員会
11日	水	複合文化施設建設特別委員会 議会運営委員会
12日	木	委員長報告、採決、閉会

旧ジャスコ石岡店跡地へのイオン出店はどうなっている？と尋ねられます。そこで、イオンと出店交渉をされている方に話を聞いたところ「継続的に交渉」「地権者等との条件整理」をしている状況との事。出店形式がモール（大型ショッピングセンター）なのか、タウン（近隣型ショッピングセンター）になるかは未定だが、モール型での出店を求めている。という話を伺いました。